

やまびこネットワーク情報誌 VOL.70

発行日 平成24年 (2012年) 12月27日

編 集 地域づくりネットワーク長野県協議会 事務局(長野県総務部市町村課地域振興係内)

事務所(文對宗秘務部川町門硃地城城央

電 話 026-232-0111(内線 2132)

FAX 026-232-2557

E-Mail <u>s-shinko@pref.nagano.lg.jp</u>
URL http://zuku.umic.jp/hp/ynet/

やまびこフォーラム2012 in 上田

ずくだせ!地域おこしのヒントさがし ~行こう!LET'S GO うえだ~ を開催!

【地域づくりネットワーク長野県協議会 上小支部】

平成24年11月10日(土)に、上田市にある大正6年に建てられた「上田映劇」を会場に「やまびこフォーラム2012 in 上田 ずくだせ!地域おこしのヒントさがし ~行こう!LET'S GO うえだ~」を開催しました。



■ 総務省連続講座と共催 ■

今年度のやまびこフォーラムは、総務省連続講座も併せて行われました。午前中に「地域力創造と地域おこしのヒント」と題して、諏訪市出身の総務省地域力創造審議官の武居丈二 さんに講師をお願いし、お話をお聞きしました。

武居審議官がこれまでかかわっていらっしゃった県や市町村 の話題などを交えて様々なお話をしていただきました。

地域の活性化のために、物語をつくることが大切だということで、(1) 埋もれていた物語を見つける。(2) 物語をふくら



ます。(3)新しい物語をつくる。というお話や、「創造力は想像力」ということで、空想し、夢やホラを吹くなど、ありもしないことを言ってみること、それは非日常を考えることにつながる、それがまちづくりのヒントになるとのお話などが印象的でした。

■ 地域発 元気づくり大賞 を贈呈! ■

平成23年度の「地域発 元気づくり支援金」に 採択された事業の中から、以下の3つの団体が大賞 を受賞されました。

(上小地方事務所より)

事業名	地域が一体となり和田宿を継承し、ふる里を	
	元気にする事業	
団体名	和田のあした一住みよいふる里を考える会	
	(長和町)	

(上伊那地方事務所より)

事業名	出動!消防戦隊ダンインジャー
団体名	辰野町消防団(辰野町)

(下伊那地方事務所より)

事業名	買物弱者「しあわせ市場配達便」	
団体名	飯田商工会議所(飯田市)	



受賞団体からの発表では、それぞれの団体から活動 の様子についてパワーポイントを使って説明がありま した。 辰野町消防団のみなさんからは、実際に活動で 取り組んだ消防戦隊ダンインジャーのショーを披露し ていただきました。



■ あっぷる学園がミニライブ! ■

大賞受賞式の前に、上田映劇を活動拠点とする長野県のご当地アイドル「あっぷる学園応援部」のみなさんによる、ミニライブがありました。

それぞれが自分の出身地の市町村の特産品や名所などを勉強して、日々長野県を元気にするために PR 活動を行っています。



■ フィールドワーク「地域づくり探検隊」 ■

大賞贈呈式の後は、AからEコースに分かれてフィールドワークを行いました。

A コース『地域を元気にするしかけと情報共有』

(担当:特定非営利活動法人 UFM) Bコース『蚕都上田上塩尻まち歩き』 (担当:蚕都上田プロジェクト)

Cコース『とことん上田まち観光』

(担当:上田のれん会)

Dコース『上田城と上田城下町歩き』 (担当:ゲートウェイ信州上田城下町) Eコース『6次産業でワインめぐり』 (担当:上小農業改良普及センターなど)

フィールドワーク後の発表を聞くと、どのコースも 魅力的で参加してみたくなる内容でした。

■ 懇親会 信州上田名物・美味だれ焼き鳥も ■

海野町商店街にあるUNOカフェで行われた懇親会では、長野県の伝統野菜の山口大根を利用した料理や信州上田名物の美味だれ焼き鳥なども登場し、大好評。 県内外の様々なみなさんと楽しく交流ができました。



【地域づくりネットワーク長野県協議会 上小支部】

下伊那支部発

~下伊那支部の活動を報告します~

下伊那支部交流会事業を行いました

10月18日(木)、下伊那郡松川町の増野(ましの)地区で活動する下伊那支部会員「農事組合法人 増野」の活動の様子を視察しました。

出荷センター見学・増野と地域の歴史

組合の出荷センター及び地元の集会所にて、組合の 方々から、組合の概要と辿ってきた歴史についてお話 を聞きました。

戦後(昭和22年)、増野原開拓地へ30戸が入植し、果樹栽培を開始。減農薬減化学肥料に取り組み、加工組合を設立すると同時にジュース工場も建設。その後、ワイン会社を設立し、製造免許も取得。

今の増野地区では、2~3 世が果樹生産地を次の世代に繋ぐべく地域づくりをしているそうです。



増野は酸性が強い土地で、作物が成長しにくく苦労されたそうです。バブル時代には時流にのることができ、果樹栽培が成長し成功したそうです。バブルの頃は自分がいかに儲けるか、自分の生活だけを考えているだけでも充分生活できたそうです。しかしこれからは、自分だけでは生活できないので助け合うための地域が必要で、その地域づくりというのは、人のことを考え思いやるというひとつの線の上で成り立つのものではないかというお話でした。

信州まし野ワイン㈱

地元産のフルーツを使ったワインの製造を行っている、まし野ワイナリーを訪れました。日本で一番小さなワイナリー。地元産のフルーツで、気軽に飲めるワインを製造しています。



フルーツガーデン北沢

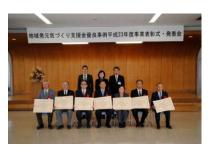
なし・りんご狩り、フルーツ加工品を扱う農園「フルーツガーデン北沢」を訪れました。お客さんに、ほっとできてゆったりした時間を過ごして貰えるよう考えながら運営されているそうです。ドライフルーツ製造を見学しました。梨のドライフルーツは糖度も高くお勧めです。りんごで作った焼肉のタレも評判です。

地域元気づくり支援金 平成 23 年度優良事例表彰式及 び事例発表会を開催しました

11月5日(月)飯田合同庁舎講堂において、下伊那地方事務所と当支部の共催により開催されたこの発表会では、多くの地域づくり団体を含め約100名の参加があり、今後の活動に向け改めて刺激を受けあうことができました。

優良事例表彰式

飯伊地方で昨年度支援金を受けた142事業の中から、7事業を優良事例として表彰しました。



事例発表会

知事賞に選ばれた飯田商工会議所(飯田市)による『買物弱者「しあわせ市場配達便」事業』をはじめ、 地方事務所長賞を受賞された6団体の皆さんによる事 例発表会が開催されました。なお、『買物弱者「しあわせ市場配達便」』は、11月10日(土)に開催された やまびこフォーラム 2012 in 上田でも、「地域発元気づくり大賞」を贈呈され、事例発表を行いました。

記念講演会

信州大学教育学部の石澤教授による『「地域を元気に」一住民主体の地域活性化一』について講演会が開催されました。



地域づくりに「地域発 元気づくり支援金」を活用してみませんか 平成25年度事業の募集が始まります

募集期間 平成25年1月4日(金)~平成25年2月1日(金)まで

地域を元気にする自主的・主体的な地域づくり活動に「地域発 元気づくり支援金」が 活用できます!

【対象となる事業】

- (1) 地域協働の推進に関する事業 (7) 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業
- (2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する 事業
- (3)教育、文化の振興に関する事業
- (4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
- (5) 環境保全、景観形成に関する事業
- (6) 産業振興、雇用拡大に関する事業
 - ア 特色ある観光地づくり
- イ 農業の振興と農山村づくり
- ウ 森林づくりと林業の振興
- エ 商業の振興
- オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
- ★平成25年度 県全域で重点的に推進するテーマ(上記対象事業とは別に、県全域で重点的に推進 するテーマを3つ設定し、全県的な共通課題に向けた取組みをさらに推進するため、該当する事業 の補助率をかさ上げします)
- ①県と市町村との協働事業 ②自然エネルギーの普及・拡大 ③障害者や若者の雇用促進、就労支援

【補助率・補助額】

公共的団体等(NPO、地域づくり団体等)の事業

区分	補助率	重点テーマに該当する場合の補助率
ソフト事業	3/4以内	4/5以内
ハード事業	2/3以内	

[※]支援金の対象事業は、補助金額が30万円以上になるものです。

【支援金の申請】

支援金の申請窓口は、活動拠点のある市町村です。ただし、事業の計画や申請のご相談など詳しくは 最寄りの地方事務所地域政策課企画振興係までお問い合わせください。

※地域発 元気づくり支援金の詳細はホームページをご覧ください。

URL http://www.pref.nagano.lg.jp/soumu/shichoson/genki/genkitop4.html

やまびこネットワークの新しいメンバーをご紹介します。

く名称 > 〈 支部名 〉

〈 活動内容等〉

上小支部 押出川流域自治会連合会 川、里山の整備、植樹祭・ホタル水路作り

長野支部 尾倉沢古道の会 古道の復活(整備)とそれにつながる砂鉢山登山会の開催等

アーチスト・イン・レジデンス善光寺界隈 長野支部

善光寺界隈の空スペースを活用した美術活動の実施や国際

交流など

◎10月からこれまでに3団体が入会され、12月現在の会員数は132団体です。